

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2011年6月19日現在

概況 オレゴン州の2011年6月19日に終わる1週間の気象は、降雨の少ない低温気象であった。Willamette Valleyの最高気温は74~76度Fであったが、最低気温は40~45度Fと低く、平均気温は平年を2~5度F下回った。1週間の降水量は0.11~0.28インチと少なかった。NC地区の最高気温は74~82度Fであったが、夜間の温度は低く35~44度Fであり、平均気温は平年を6~8度F下回った。同地区の1週間の降水量は0.01~0.21インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.1日(前週:5.5日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は、前週より“Surplus”が減少し、Topsoilでは“Short”が増えた。冬小麦はWillamette Valleyに於いても開花を開始した。一方、Strip rustも広がっており、開花前の圃場では薬剤散布が実施されていた。NC地区のSherman郡では好天と降雨の日が交互に有り、気温は低く一部に降霜があり小麦への被害が心配された。同地区の冬小麦は登熟期を迎えた。Umatilla郡では好天が続いたが、週末に纏まった降雨があった。Strip rustへの空中散布が行なわれた。冬小麦は90%が出穂した。昨年並びに5年平均より多少遅い進展であった。冬小麦の作柄は前週より改善し、昨年より良い評価が続いた。播種が遅れた春小麦は全州で出芽を完了し順調に生育していると報告された。春小麦の作柄は良好な評価であった。今期の冬小麦の単収は昨年を上回る予想であった。

2011年6月19日現在：土壌水分(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	10	80	10
	Last week	0	4	81	15
Subsoil	This week	0	5	86	9
	Last week	0	2	80	18

2011年6月19日現在：冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Headed	90	78	94	95

2011年6月19日現在：冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	4	13	62	20
Last week	1	4	16	55	24
Last year	1	7	24	49	19

2011年6月19日現在：春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	1	12	68	18
Last week	NA	NA	NA	NA	NA

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2006,2007,2008,2009 and 2010 crop years

2011年6月1日付け USDA 生産量予想

State	Area Harvested 1000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1000 bushels	
	2010	2011	2010	2009		2010	2011
				May 1	June 1		
Oregon	810	810	67.0	69.0	71.0	54,270	57,510
USA	31,749	37,039	46.8	44.5	45.3	1,485,236	1,450,115

以上